
特別講演

演 題

ICT を利用した効果的な教育・学習のための授業設計と実践

講 師：京都大学 理事補／高等教育研究開発推進センター長・教授
飯吉 透 先生
(いよいよ とおる)

〔講師紹介〕

国際基督教大学・同大学院（教育工学）を経て、フロリダ州立大学大学院博士課程修了。Ph.D.（教授システム学）。カーネギー財団上級研究員・同知識メディア研究所所長、東京大学大学院情報学環客員教授、マサチューセッツ工科大学教育イノベーション・テクノロジー局シニアストラテジスト等を経て現職。国内外でテクノロジーを利用した教育の進展に関するビジョン策定・研究開発・啓蒙活動に従事。主著に Opening Up Education（MIT Press, 2008）〔共編著〕、『ウェブで学ぶ - オープンエデュケーションと知の革命』（筑摩書房, 2010）〔共著〕など。アメリカ教育コミュニケーション工学会最優秀実践賞・同学会研究論文奨励賞受賞。



【講演要旨】

テクノロジーの進歩や労働市場のグローバル化が進み、社会の在り方や構造が大きく変化する中で、教育のオープン化、ユビキタス化、ゲーム化やAI（人工知能）、ビッグデータ等の本格的利用によって、現在高等教育は大きな変革と進化の最中にある。その一方で、我が国では様々な困難を抱える学生に、いかに興味を持って主体的に学んでもらうかが、必要とされる個別対応も含め、喫緊の課題となっている。

このような中、大学における日々の教育実践において、ICT（情報コミュニケーション技術）を効果的に利用し、個々の教員が教育実践における様々な問題解決と授業改善を進め、より主体的・効果的な学生の学びを実現していくためには、教員が「新しいテクノロジー」だけでなく「新しい教育方法」についても理解を深め、教育実践コミュニティとして互いに研鑽し学び合っていくことが肝要である。

これらの観点を踏まえて本講演では、ICT の活用によって、より多様で柔軟な教育・学習を可能にするような新たな教育方法、学習環境、効果的な授業設計と実践のあり方について、具体的な事例を通して概観・考察し、さらにこれからの教育システムや社会の姿とその可能性を予見します。